

令和4年度 小野町立小野小学校通学路・集合場所等合同点検対策一覧

NO	点検実施日時	通学路安全推進構成員	通学路・集合場所等の危険・要注意箇所		通学路・集合場所等の危険性	警察署による対応策	三春土木事務所による対応策	学校による対応策	町民生活課による対応策	地域整備課による対応策
			説明	画像						
1	10/25(火)	田村警察署 小野分庁舎 三春土木事務所 小野小学校 町民生活課 地域整備課 教育委員会	小学校前道路		現在、グリーンゾーンは設置されているが道幅は広いとはいえないため危険である。特に、スクールバス利用児童の人数も多いため、ガードレール等の設置あるいは、登校ルートの検討が必要である。また、雨の日は、横断歩道中央付近にたまる雨水を通行する車が勢いよくはじきとばしている。	通学路であり、ゾーン30に指定されていることから、警察官による通学路警戒、交通指導取締りを行い、児童の見守り活動を実施する。		これまで同様、児童に対してグリーンゾーンの内側を安全に歩行することができるように指導していく。	横断歩道に飛び出しボーイ・ガール(注意表示物)の設置済。(12/16(金)) 交通安全協会小野支部、交通安全母の会等交通関係団体へ周知し、安全運転啓発に努める。	横断歩道付近の水溜りについて、道路に切り込みを入れ、排水処理を行ったが、解消されなかったため、本年度中に舗装工事にて対応予定である。 ガードレール設置については幅員等の問題があるため難しい。 児童への交通安全指導を引き続きお願いしたい。
2	10/25(火)	田村警察署 小野分庁舎 三春土木事務所 小野小学校 町民生活課 地域整備課 教育委員会	小野赤沼 エース美容室前から 大東銀行付近		グリーンゾーンはあるが、道幅が狭いうえ、カーブが多いため見通しが悪い。 そのわりにスピードを出して走行する車が多い。	小野町中心部と国道349号を結ぶ町道であり、出勤時間帯は交通量が多いことから、パトカーによる通学路警戒を行い、児童の見守り活動を実施する。		グリーンゾーンの幅がかなり狭いが、これまで同様、児童に対してグリーンゾーンの内側を安全に歩行することができるように指導していく。	令和3年度にスピード出し過ぎ注意の看板を設置しており、経過観察としたい。 交通安全協会小野支部、交通安全母の会等交通関係団体へ周知し、安全運転啓発に努める。	町道全体の改良工事は構造上難しいが、一部赤沼橋付近については河川改修に伴い道路拡幅予定である。
3	10/25(火)	田村警察署 小野分庁舎 三春土木事務所 小野小学校 町民生活課 地域整備課 教育委員会	横町から反町行政区 道路の通学路 (船引大越小野線)		カーブミラーはあるが、滝根方面へ向かう見通しが悪い。 朝の登校時は、滝根から町内に下ってくる車と、町内から滝根方面に上っていく車の交通量は比較的多い。 歩道が狭い道路の右側歩行を遵守している児童は、対向してくる車が接近してくるなか、非常に危険である。	主要地方道であることから、パトカーによる通学路警戒を行い、見守り活動を実施する。	グリーンベルト設置(今年内実施)	地域の方々の見守りのご協力もあり児童は安全に一列になって歩行しているが、これまで同様に白線の内側を歩行することができるように指導していく。	令和4年度ごみ集積所を移動。経過観察としたい。 交通安全協会小野支部、交通安全母の会等交通関係団体へ周知し、安全運転啓発に努める。	
4	10/25(火)	田村警察署 小野分庁舎 三春土木事務所 小野小学校 町民生活課 地域整備課 教育委員会	4号車 西沢集会所バス停		滝根・小野町内両方面からスピードを出して、走行する車や、登校時は交通量も多い。 カーブが多く、歩道が狭いため、雨の日の歩行・バス待ちが危険である。	主要地方道であることから、パトカーによる通学路警戒を行い、見守り活動を実施する。 送迎バスのバス停の位置を安全な場所に移動することが望ましい。	路面標示(減速マーク)設置(今年度内実施)	児童には、スクールバスを待つ際に車道から離れて安全に待つことができるように指導する。 また、走行する車輛のスピードがかなり速いので、バス停の移動については継続して検討していただきたい。	希望とする看板があれば提供したい。 交通安全協会小野支部、交通安全母の会等交通関係団体へ周知し、安全運転啓発に努める。	
5	10/25(火)	田村警察署 小野分庁舎 三春土木事務所 小野小学校 町民生活課 地域整備課 教育委員会	飯豊郵便局前		歩道が狭い。そのうえ水路があり水量もある。 道路の北側には緑石のある歩道になっている。バスを降りて歩行するには危険である。	国道349号の沿線であることから、パトカー、飯豊駐在所員による通学路警戒を行い、児童の見守り活動を実施する。 水路を有蓋側溝にすることが望ましい。	側溝整備(次年度実施)	児童には、歩行する際はできるだけ白線の内側を歩行することができるように指導していく。 安全に歩行できるようなスペースを確保していただきたい。	希望とする看板があれば提供したい。 交通安全協会小野支部、交通安全母の会等交通関係団体へ周知し、安全運転啓発に努める。	